

# 済生ごうつ

## — 第6号 —

発行日 H18.9.30

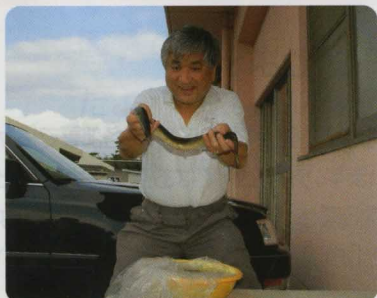
### 良い医者とは？

暑かった山陰の短い夏もだんだん涼しくなり、鈴虫の鳴く季節となりました。

6月1日、新病院へ移転して3箇月が過ぎました。期待の大きさでしょうか。患者さんからの要望の数かすが続々と寄せられています。おもいつくままに列挙したいと思います。まず江津市議員有志の3名のかたがたからの要望書です。アンケート1000通のうち約760通が済生会病院に関する事で、『良い病院、よい医師を確保して欲しい』というのが500件近くありました。良い病院や医者につきましても、皆さんの求められるイメージは異なっているのではないかと。ひとまずいったいどんな医者かについて私はアンケートをとってみたいと思っています。思いつくままにあげますと、専門性の高い医者、親切に説明してくれる医者、何でもみってくれる医者、技術のある医者、短気にならず気分のむらのない医者などいろいろあると思いますのでどしどし教えてもらいたいものです。ちなみに院長はいい医者が沢山この病院に存在すると確信していますが、患者さんはまた思いが別のところにあるのかもしれない。

江津医療福祉センターとして済生会病院と白寿園(特老)、高砂病院、たかさご苑(介護老健施設)が近所に集まりましたので、連絡を密にして風通しを良くしたいと思います。手初めといっは何ですが、人事交流を行ないました。9月1日から、高砂病院から作業療法士の山代夢美さんに済生会に、白寿園から理学療法士である伊藤寿祥さんのお二人を出向してもらいました。リハビリテーション科の人数が足りなくなったためです。お二人の参加で、脳血管患者さんのリハビリを十二分に新病院で行なうことが出来るようになりました。平田正名院長、湊時子園長に感謝感謝です。

最後に念願だった、夏祭りにセンターとしてはじめて参加しました。3施設あわせて100名を超える参加でした。浴衣や制服は今年は白寿園から借りたりしましたが、来年は自前のはっぴをそろえたいと思っています。市民の皆さんの輪のなかに入るとまた格別でいい汗をかいたという感想が出ています。職場姿だけを見慣れている身にとって、職員の皆さんの浴衣姿は男女を問わず美しいもので見直した次第です。  
(平成18年9月5日)



「江津に来てはじめて  
うなぎが獲れました(^0^)/」

院長 堀 江 裕



## 島根県済生会江津総合病院

〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37

TEL (0855) 54-0101(代) FAX (0855) 54-0171(代)

<http://www.saiseikai-gotsu.jp/>

6/1

## 新病院がオープンしました。

移転のため1週間の休診期間を設け皆様には多大なるご迷惑をおかけしました。

去る6月3日は新病院へ移転して最初の外来診療日となりました。新システムの導入については大きなトラブルもなく安堵しておりましたが、懸案事項であります「待ち時間」については今日までにたくさんのお怒りの投書をいただきました。

今後、地域の中核病院として、患者さん本位の医療及びサービスの提供に努めてまいります。



▲6/1、万全の体制で臨んだ患者移送。3時間で無事完全移送することができました。

8/27

## 済生会中・四国ブロック親善ソフトボール大会 “惨敗”

恥ずかしながら今年もまた他病院とのレベルの差を痛感する結果となりました。

来年こそは入賞を目指して頑張ります!



▲後方に写る山は飯野山(讃岐富士)。

8/16

## 江の川祭りに参加しました。

8月16日に開催された『江津市江の川祭り江津市音頭パレード』に済生会医療福祉センターとして参加しました。参加が急に決まったこともあって踊りの練習をする時間が十分ではありませんでしたが、“ゆかた”と“はっぴ”を着ればチャチャンガチャン、ア・ソツレ…息はピッタシでした。



## 一日看護体験

中学生高校生ら30名が病院での看護体験を通して看護職について理解を深めることができました。

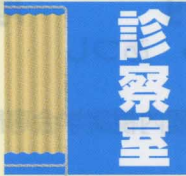


9月

## “おいしかったよ!!”

看護部では9月を老人看護月間として定め、各部署で様々な催し物を実施しています。外来部門ではお茶コーナーを出店し、4種類の飲み物をふるまい大勢の方が来られました。なかでも黒豆茶は人気で「おいしい」とおかわりをされる方もいて、「毎月して欲しい」などうれしい言葉を頂きました。





## メタボリックシンドロームって？

江津総合病院 内科（糖尿・内分泌）  
部長 森 俊 明



動脈硬化に起因する心血管病が日本でも、世界でも死亡原因の約30%を占めることから、その予防は医療の大きな課題となっています。心筋梗塞、脳梗塞などの動脈硬化性疾患の危険因子として高血糖、高血圧、高脂血症などが知られています。これらは単独でも動脈硬化の危険因子となり得ますが、重複して存在することにより、より高頻度に動脈硬化を発症させることが証明されました。1990年代になりこれら動脈硬化の危険因子を重複してもつ状態を“シンドロームX”とか“インスリン抵抗性症候群”と呼ばれるようになり、現在はメタボリックシンドロームと命名されました。危険因子の重複は偶然に生じるものではなく、共通の原因によって引き起こされます。その原因とは肥満です。特に内臓に脂肪の蓄積した内臓脂肪型肥満では、肥大した脂肪細胞から生理活性物質（アディポサイトカイン）が分泌され高血糖、高血圧、高脂血症を惹起することが近年の研究により解りました。内臓脂肪型肥満かどうかの判定法は簡単で、ウエスト周囲をメジャーで測定することでわかります。この際、立って、軽く息を吐き、ヘソの高さで測ってください。男性では85cm以上、女性では90cm以上が内臓脂肪型肥満と診断されます。

メタボリックシンドロームでは健常人に比べ、狭心症、心筋梗塞といった冠動脈疾患の発症率が1.5～3倍になると報告されています。したがって重複した危険因子である高血糖、高血圧、高脂血症の治療が必要になりますが、先ほども述べたようにこれらの根元は肥満にあるため、肥満の解消が動脈硬化の第一の予防、治療につながります。肥満の解消にはご存じの通り食事療法と運動療法以外にありません。一日の食事量の目安は自分の標準体重に、軽・中労働者であれば25～30、重労働者では30～35をかけたカロリー数です。お菓子などの間食、アルコールの過剰摂取はカロリーオーバーにつながるので注意して下さい。運動療法はウォーキングが最適ではないでしょうか。1日1回、20～30分間、週3～4回の頻度で運動効果が得られます。速さは軽く汗をかく程度とし、無理をしないことが長続きの秘訣です。

循環器科医師



**前田 篤 慶**  
 まえだ あつよし  
 医長  
 日本循環器学会専門医、  
 日本内科学会専門医、  
 循環器疾患一般

消化器科医師



**北村 厚**  
 きたむら あつし  
 医長  
 日本消化器内視鏡学会専門医

理学療法士



**伊藤 寿 祥**  
 いとう ひさよし

作業療法士



**山代 夢 美**  
 やましろ ゆめみ

よろしく申し上げます。(^^)

診療科案内



産  
婦人科

【産婦人科の紹介】

妊娠中の女性にとっては、もうすぐお母さんになる、元気な赤ちゃんが抱けるといふ期待感がある一方、お腹のなかの赤ちゃんへの気配りや出産に対する不安も感じることと思います。わたしたちは、より多くの女性にとって、安心して妊娠、出産ができるようにサポートいたします。

子宮癌、卵巣癌などの悪性腫瘍をはじめ様々な婦人科疾患に対応するために、開腹手術をして患者さんのQOLの向上を図りながら治療にあたっております。



**山根 由 夫**  
 やまね よしお  
 部長  
 日本産科婦人科学会専門医、  
 日本臨床細胞学会専門医 指導医



**坪倉 かおり**  
 つぼくら かおり  
 医員  
 日本産科婦人科学会専門医



☆キラリ☆ 島根県糖尿病療養指導士

増加の一途をたどる糖尿病患者、今や6人に1人は糖尿病予備軍とされています。糖尿病療養指導士は今年2名合格し8名となりました。糖尿病患者さんの診療をより充実したものにするためDr.の片腕として活躍しています。

【主な活動】外来糖尿病教室・調理実習・職員教育・糖尿病患者でつくる「なでしこの会」事務局

【指 導 士】谷口真理子(看護師)、麻原靖子(看護師)、佐々木由紀子(管理栄養士)、西本興司(薬剤師)、西本利子(臨床検査技師)、大崎恵子(看護師)、清水佐知子(看護師)、谷口幸子(看護師)

# 掲 示 板

## 禁煙・分煙をすすめる講演会開催

日時：平成18年**10月22日(日)** 午前10時より

講演：『たばこの害と禁煙外来の取り組み』  
講師：江津総合病院 内科部長 田中敬康 氏

講演：『県の取り組み・禁煙支援の環境づくり』  
講師：浜田保健所長 谷口栄作 氏

展示：禁煙グッズなど

## 母親学級のお知らせ

開催日時：下記のとおり  
(木曜日)

月	前期	後期
10月	5日	19日
11月	2日	16日
12月	7日	21日
1月	4日	18日
2月	1日	15日
3月	1日	15日

会 場：当院2階  
第1会議室

時 間：13時15分より

## 看護職員募集

平成19年度採用の職員を募集します。  
試験日程等については改めてご案内します。

詳しくは当院ホームページをご覧ください。

## 50周年記念誌 10月発刊

済生会江津総合病院50周年記念誌が2年の編纂期間を経てこのたび発刊することとなりました。発刊にあたり関係者の方々には感謝します。

旧病院は、昭和30年4月11日、郷田町(現在の江津町)に病床49床、職員は19名で開院しました。その後数次による増改築を経て半世紀もの歴史を築き、去る6月1日に新築移転したところであります。在籍した職員は述べ1300人。

1階待合ホールに置いてありますので自由にご覧ください。



## 院内ミニコンサート開催

当院職員による楽器演奏及びのぞみ保育園(きく組さん)園児による合唱を披露します。

日時：平成18年**10月25日(水)** 14時30分より

- ①演奏
  - ②きく組さんによる合唱
- 1階健診センター前

※1階正面玄関待合ホールよりご歓談ください。

## 放射線科外来に導入されたCRシステム

(日本損害保険協会寄付)



## ファックスコーナーを再開!

新病院の移転開院以来取りやめとなっていた「ファックスコーナー」が再開されます。

「ファックスコーナー」は薬剤師会の協力により設置されていましたが、患者さんの個人情報保護法に係わる問題の発生を危惧し取りやめになりました。

この程、患者さんやそのご家族の方々の強い要望と江津市及び近隣市町村の応需体制の現状を考慮し、10月から再開いただけることになりました。

